



## 労働安全衛生の推進

日油グループは、労働安全衛生の推進を、「5つの安全」に分類したRC活動の中の「労働安全」に関する活動として、活動目標を共有し取り組み、RCマネジメント体制に基づいて、各事業所の協力会社も含め

て、グループ一体となった活動を展開しています。

## 労働安全衛生方針

日油グループは、労働災害の撲滅を目指し、グループに関係する労働者全員が、安全に安心して働く

ける職場をつくる決意を明確にし、理想を実現するために、2006年4月に労働安全衛生方針を定めました。この方針のもと、労働安全衛生マネジメントシステムを整備するなど、事業所、工場ならびにグループ会社ごとに、活動を展開しています。

### 労働安全衛生方針

#### 基本理念

私たちは、化学企業グループとして『安全なくして事業の存立はない』との理念のもと、従業員と地域社会の「安全」と「健康」の確保に努めます。全ての役員ならびに従業員は、レスポンシブル・ケア活動に則り、緊密な業務連携のもとに『安全で安心して働ける職場』を構築し、積極的に労働安全衛生活動を推進します。

#### 基本方針

- (1) 労働安全衛生に関する適切な自主管理システムを整備して、必要な管理と改善を継続します。
- (2) 作業環境の改善と設備の本質安全化を推進し、労働環境の変化を先取りしたリスク低減活動により労働災害の根絶を目指します。
- (3) 関連法規や自主的に定めた規定・基準を遵守します。
- (4) 快適な職場環境の形成に努め、健康保持・増進を支援します。
- (5) 労働安全衛生方針を全従業員に周知徹底するとともに、毎年あるいは必要に応じて見直します。

本方針は、広く一般に公開します。

(2015年4月 改定)



## 2023年度の安全活動結果と 2024年度のRC活動目標

2015年度より「完全ゼロ災」<sup>\*1</sup>を目標に掲げ取り組んでいます。2023年度は死亡事故はゼロですが労働災害が8件発生し、目標は未達成となっています。

2023年度はRC活動目標の実施事項として「基本的安全行動の徹底」を継続しながら、日油グループで継続的に発生している「転倒災害」に注目して発生防止に取り組みました。また、職場に潜む災害リスクへの対策を強化することを目的として、管理者が実際に現場を観察し、問題点を認識し、作業の安全化を図る「三現主義」に基づいた現場管理を継続して推し進めまし

たが、2022年度と比較して、休業災害は3件に増加（前年度比2件増加）、全災害発生数も8件に増加（前年度比2件増加）しました。

発生した8件の労働災害はいずれも、「本体作業」の「周辺作業（日常的な行動を含む）」において発生しており、また、「薬傷災害」が増加していましたので、「基本的安全行動の徹底」の継続とともに、「転倒災害」に加えて「薬傷災害」にも注目し、災害発生防止に取り組むこととしました。

## 交通災害の撲滅

2023年度に多発した通勤災害や業務上の交通事故の低減を目指し、交通安全への取り組み強化を実施しました。交通安全は事業所、関係会社の実情に合わせた独自の活動を進めています。活動内容としては、「交通安全週間パンフレット配布」「警察署による安全講話」「交通スローガン横断幕掲揚」「交通ヒヤリマップの作成・周知」などを実施しました。



運転シミュレータ教育（大分工場）



自転車シミュレーター教育（尼崎工場）

## 2024年度 日油グループRC活動目標、労働安全実施項目

### ① 危険に対する感性の向上と 基本的安全行動の徹底（転倒・薬傷災害発生防止に注力）

- 労働安全教育・訓練の実施
- 危険予知能力の強化

### ② 災害リスクの低減

- [労働安全]
  - 三現主義に基づく対策の強化
  - 安衛則<sup>\*2</sup>改正への確実な対応
- [交通安全]
  - 加害・自損災害の原因の深掘り
  - 気付きを促す教育の強化

\*1 休業および不休業災害ともにゼロとする日油グループ独自の取り組み目標です。

\*2 労働安全衛生規則



## 労働安全衛生におけるリスクと機会

分類	リスク項目	概要	対応(実施項目)
リスク	労働災害	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 製造工程で有毒物の吸入や化学物質による負傷によって従業員に直撃する重大事故が発生し、死亡ないし後遺症を負った本人や親族から賠償請求された</li> </ul>	<p>①危険に対する感性の向上と基本的安全行動の徹底</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 労働安全教育・訓練の実施（2023年度：延べ時間17,092時間）</li> <li>● 重点課題『転倒、転落、墜落災害の防止』の展開</li> </ul> <p>②災害リスクの低減</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 三現主義に基づく対策の強化（2023年度：RC監査21回）</li> <li>● 安全点検の日（8月1日）の総点検実施（2023年度：日油32部門、関係会社32箇所）</li> </ul>
	化学物質の取り扱いミス	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 従業員が危険有害性のある化学物質の取り扱いを誤り、化学物質同士の混触により中毒ガスが発生し、それを吸引した複数の従業員が中毒症状となった</li> </ul>	<p>①危険に対する感性の向上と基本的安全行動の徹底</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 製品安全教育・訓練の実施（2023年度：延べ時間2,941時間）</li> <li>● 化学物質RAの実施（2023年度：日油824件、関係会社443件）</li> </ul> <p>②災害リスクの低減</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 三現主義に基づく対策の強化（2023年度RC監査21回）</li> </ul>
	交通事故 (業務中的人身事故)	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 日油グループ社員が運転するトラックが、輸送中に人身事故を起こし、相手が多数死亡して社会的な評価が大きく損傷した。また、高額の損害賠償が必要となった</li> </ul>	<p>①危険に対する感性の向上と基本的安全行動の徹底</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 労働安全教育・訓練の実施（2023年度：延べ時間17,092時間）</li> </ul> <p>②災害リスクの低減</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 加害・自損事故の原因と深掘り（2023年度：なぜなぜ分析13回）</li> </ul>
	交通事故	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 従業員が出退勤途中に交通事故を起こし、本人が死傷したほか、通行中の第三者を死傷させた</li> </ul>	
	物流事故	<ul style="list-style-type: none"> <li>● トラック輸送中の事故で積み荷の危険物が道路に散乱し、周辺道路が一時通行止めとなり、納期遅延によって損害賠償請求された</li> </ul>	
	保管中の損傷事故	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 倉庫内における容器の破損等により、保管中の製品や倉庫の資機材等が滅失・損傷したほか、従業員が負傷した</li> </ul>	<p>①物流会社への安全指導</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 物流安全教育・訓練の実施（2023年度：延べ時間430時間）</li> </ul>
	火災・爆発	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 事業所で大規模な火災・爆発事故が発生した。設備・機械等に甚大な損傷が発生したほか、複数の従業員が死亡・負傷し、周辺地域の民家等にも爆風で被害が出た。多額の損害賠償や違約金が生じた上、長期にわたる操業停止を招いた</li> </ul>	<p>①防災・保安対策の強化</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 設備安全教育・訓練の実施（2023年度：延べ時間862時間）</li> <li>● 異常気象時・長期連休時の注意喚起（2023年度：気象関連4件、長期休暇3件）</li> <li>● 安全・防災設備の投資（2023年度：防災、安全作業、風水害対策等）</li> </ul> <p>②新設・変更時の安全評価の実施</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● SAの実施（2023年度：99件）</li> </ul>
	整備・点検の不良による設備・機械の損傷・故障	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 工場で、高圧ガス設備、クリーンルームや真空乳化機等の重要な設備が破損して長期間操業が停止し、売上が減少した</li> </ul>	
機会	運転ミスによる設備・機械停止	<ul style="list-style-type: none"> <li>● オペレーターの誤操作によって製造機械が停止してしまい、仕掛け中の製品を廃棄せざるを得なくなった</li> </ul>	
	労働安全衛生に貢献する製品のニーズ拡大	<p>【熱中症予防】示温材 【薬傷予防】有害物質不使用製品（ノンルフェノール代替製品）</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 労働安全衛生対応型製品の開発・提供</li> </ul>

コントローラー

組織

ガバナンス  
戦略

重要課題

経済

RC

社会

卷末資料



## 体験・体感型安全教育

日油グループは、労働災害防止のための教育手段として、疑似的に危険性を経験として学ぶ体験・体感型安全教育を導入し、従業員の危険に対する感受性や安全意識の向上を図っています。

外部教育を主に行ってきましたが、社内にも体感教育を導入し、より現場に即した教育にも取り組んでいます。



危険体感教育（尼崎工場）



安全実技体験研修（大分工場）

## 個人の「安全実行宣言」活動（国内グループ）

2011年度に発生した労働災害の要因分析結果から、危険感覚の欠如、不注意などの人的要因による労働災害を撲滅するためには、安全意識の底上げが必要と判断しました。2012年度より、各人が労働安全に関する行動目標を自ら設定し活動する「安全実行宣言活動」を継続実施しています。場内の協力会社を含め全員の安全実行宣言を掲示板で公開するなど、各工場ごとに工夫して取り組んでいます。



## 日油グループのRC教育訓練

日油グループの全従業員がRCに関して理解を深めるために教育に力を入れています。2023年度は、のべ42,890人が参加し、のべ時間27,059時間のRC関連の教育訓練を実施しました。



集合教育（日油工業㈱）



集合教育（大分工場）

### 2023年度 RC教育訓練 日油グループ

分野	のべ参加人数(人)	のべ時間(時間)
RC全般	5,538	3,814
労働安全	25,882	17,092
環境安全	3,253	1,920
製品安全	5,604	2,941
設備安全	2,255	862
物流安全	358	430
総計	42,890	27,059



## BCP訓練・教育

全国的な地震による甚大な被害を想定し、国内の全生産箇所と連携した全社合同訓練を初めて実施しました。この訓練では、本社の非常事態対策本部と各生産拠点の間での円滑な情報共有と協力体制を構築することに焦点を当て、策定しているBCPの有効性を確認し、改善につなげています。

また、感染症の流行やサイバー攻撃などの非常事態に備えたBCPの整備や教育に関しても、継続的な取り組みを行い、積極的にBCPの拡充を図っています。



全社合同訓練（本社）



全社合同訓練（オンライン：愛知事業所）



全社合同訓練（非常事態対策本部）



## 労働安全衛生 | 安全教育・訓練

GRI 403-4,5,7

### 防災訓練

日油グループでは、有機過酸化物をはじめとする危険物、火薬類を製造し、災害発生時に社内外への被害を最小限でとどめることを最重要事項と考え、積極的に防災訓練に取り組んでいます。特に地域組織との合同防災訓練を定期的に実施することで、地域と一丸になった災害対策の強化を図っています。

また、地元自衛消防隊消火操法大会などにも積極的に参加することで、消火技術の向上と地域へ安全意識の高さをアピールしています。



最初期消火訓練（大分工場）



防災訓練（日油技研工業株）



コンビナート消防競技大会（大分工場）



防災訓練（尼崎工場）



防災訓練（日油工業株）



コンビナート排水口トラブル対応訓練（大分工場）



自衛消防隊操法大会（尼崎工場）



## 労働安全衛生 | 安全活動

GRI 403-4

### 安全活動に対する表彰

日油グループでは、日頃の安全活動や危険物などの使用施設での無災害継続などが認められ、各種表彰を受けています。

尼崎工場では、兵庫県より危険物に関する取り扱いが評価され表彰を受けています。

日本工機(株)、ジャパックスでは火薬保安に関する功績が評価され、表彰されています。

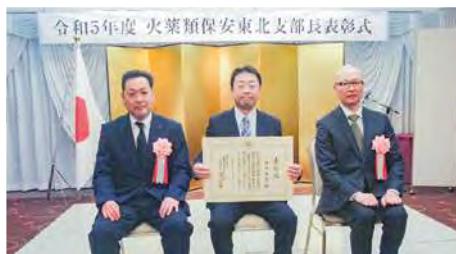
日油技研工業(株)、油化産業(株)では消防操法大会で優秀な成績を納め表彰されています。

北海道日油(株)では安全運転への取り組み、NOFメタルコーティングス(株)、日邦工業(株)では健康に関する取り組みが評価され表彰されています。

これらの受賞を励みに、引き続き、安全活動や事故防止に努め、より一層安全管理の推進に取り組んでいきます。

### 安全活動への表彰実績

事業所	受賞日	名称
尼崎工場	2023/6/5	一般財団法人全国危険物安全協会 優良危険物関係事業所消防庁長官表彰受賞
	2023/6/15	一般社団法人日本ボイラ協会兵庫支部 優良ボイラー技士受賞
	2023/6/13	一般社団法人兵庫県高圧ガス保安協会 優良高圧ガス保安責任者受賞
日本工機(株)	2023/12/13	関東東北産業保安監督部東北支部長表彰(火薬類製造の保安に関する功績)
日油技研工業(株)	2023/5/11	埼玉県火薬類保安協会長 永年勤続優良従業者賞
	2023/10/19	自衛消防隊消防操法競技大会(屋外消火栓の部 優勝)
北海道日油(株)	2023/2/27	北海道安全運転管理者協会 安管グリーン章達成事業所表彰
油化産業(株)	2023/10/1	第十六回大和市防火安全協会消火技術大会(消火器の部 第三位)
昭和金属工業(株)	2023/5/11	筑西広域防火管理協議会 優良事業所表彰
NOFメタルコーティングス(株)	2024/3/11	健康経営優良法人2024(中小規模法人部門)受賞
(株)ジャパックス	2023/5/30	東京都火薬類保安協会 火薬類取扱保安優良従事者
日邦工業(株)	2023/11/10	健康保険委員理事長表彰 健康保険委員としての功績



関東東北産業保安監督部東北支部長表彰  
(日本工機(株))



筑西広域防火管理協議会 優良事業所表彰  
(昭和金属工業(株))



## 安全・防災設備投資

日油グループでは、安全・防災関連対策として、爆発・火災・漏洩などを含めた事故防止対策、労働安全・作業環境改善対策等の設備改善工事を計画的に進めています。また、今後発生が予想されている大地震に備え、建物の耐震補強工事も計画的に進めています。

### 2023年度の主な安全・防災設備投資

事業所	目的	内容
尼崎工場	台風・大雨対策 安全作業	倉庫外壁改修 墜落防止設備新設
千鳥工場	防災	消防ポンプ更新
大分工場	安全作業	作業ステージ改修
武豊工場	防災	スプリンクラー設備更新
衣浦工場	安全作業 作業環境改善	床・階段改修 スポットクーラー更新
大師工場	台風・大雨対策 防災	屋上防水改修 非常灯設備増強

※1 機能損失災害：負傷が治った時に障がい（障害等級5級以上）が残る災害

※2 休業災害：休業1日以上の災害

※3 不休業災害を含む

※4 度数率=延べ労働損失人員／延べ実労働時間数×1000

## 2023年度労働災害の発生状況

### 2023年度 労働災害発生実績

指標	対象	2021年度	2022年度	2023年度
死亡、機能損失災害(人) <sup>※1</sup>	日油本体(日本)	0	0	0
	関係会社 (内訳)	0	0	0
	日本	0	0	0
	アジア	0	0	0
	米州	0	0	0
	欧州	0	0	0
	場内協力会社	0	0	0
	死亡、機能損失災害度数率 <sup>※4</sup>	0.00	0.00	0.00
休業災害(人) <sup>※2</sup>	日油本体(日本)	3	1	1
	関係会社 (内訳)	1	0	1
	日本	1	0	1
	アジア	0	0	0
	米州	0	0	0
	欧州	0	0	0
	場内協力会社	1	0	1
	休業災害度数率 <sup>※4</sup>	0.85	0.17	0.50
全災害(人) <sup>※3</sup>	日油本体(日本)	8	1	3
	関係会社 (内訳)	2	3	3
	日本	2	3	3
	アジア	0	0	0
	米州	0	0	0
	欧州	0	0	0
	場内協力会社	2	2	2
	全災害度数率 <sup>※4</sup>	2.03	1.01	1.35



## 注意喚起の実施

労働安全活動の一環として、RC活動を統括する設備・環境安全統括室より、定期・不定期に労働安全に関する注意喚起、安全活動に関する指示事項の通知や調査などの文書を発信し、グループ各社へ展開しています。定期的には、長期連休に対する安全・保安対策の実施、夏季の熱中症対策の徹底等、また、不定期には災害発生時や台風接近時等、必要に応じて追加の注意喚起や対策の指示等を行っています。このような注意喚起等の事項については、設備・環境安全統括室により対応状況の集約が行われ、RC監査等の機会にフィードバックを行うことで安全対策の強化、意識の向上を図っています。

## 災害発生時の原因究明・再発防止策の実施と情報の水平展開

労働災害が発生した箇所では、徹底した原因究明を行い、応急対策および恒久対策を計画、実行しています。これらの情報は、グループ各社へ速やかに展開し、情報共有、水平展開を図り、類似災害の防止に努めています。

また、過去に発生した労働災害を分類し、発生件数の多い分類について、特に注力した安全活動を活動目標に組み込んで展開し、再発防止、「完全ゼロ災」の達成を目指しています。2023年度は、「転倒・転落」に注目した活動に注力しましたが、残念ながら、発生した3件の休業災害はいずれも「転倒・転落」でした。この反省点を踏まえ、2024年度も「転倒・転落」災害防止への取り組みを強化していきます。

「転倒・転落」のうち、特に「転倒」については、全国的にも数多く発生する労働災害であり、高年齢者でリスクが高くなっていることが知られています。そこで、日油では、高年齢者の安全と健康確保に向けた取り組みも始めています。



赤十字救急法講習会（大分工場）



救命救急講習（川崎事業所）



## 健康経営

日油は、「従業員の安全と健康の確保、快適な職場環境づくりが企業の持続的な成長の基盤である」との考えのもと、社長が「健康経営宣言」を社内へ発信し、①快適な職場づくり、②メンタルヘルスケアの推進および、③健康の保持・増進の3つの課題を重点項目として周知しています。この「健康経営宣言」は、健康経営の推進が、従業員のパフォーマンスを向上させることに加え、中長期的に優秀人材のリテナシヨンや採用に好影響をもたらし、日油の価値を高めることにつながることを狙いとし、取締役兼執行役員と役付執行役員が出席する政策会議で毎年審議を行っており、課題に応じた重点項目等の内容の充実に努めています。



## 重点項目

① 快適な職場環境づくり

- 業務効率化の推進と長時間労働の抑制
- 仕事と家庭の両立を支援する制度のさらなる拡充
- 受動喫煙の防止

取り組み例

- 全従業員を対象に誕生日に年次有給休暇の取得を奨励
- 年次有給休暇の取得状況を把握し、上司と本人への取得奨励を実施
- 上司と本人の面談時に取得状況を確認

年次有給休暇取得率 日油

2022年度 (実績)	2023年度 (目標)	2023年度 (実績)
73.4%	73%以上	76.0%

2024年度(目標) **74%以上**

2025年度75%以上をKPI目標とし、2023年度目標から1ポイント引上げ

② メンタルヘルスケア

- ストレスチェックの受検を推奨
- メンタルヘルス教育によるセルフケア意識の向上
- メンタルヘルス相談体制の充実

取り組み例

- 各箇所の(安全)衛生管理委員会にてストレスチェック結果を共有

ストレスチェック受検率  
(休職者等除く) 日油

2022年度 (実績)	2023年度 (目標)	2023年度 (実績)
99.9%	99%以上を維持	99.9%

2024年度(目標) **99%以上を維持**

概ね全員が受検することを目標に99%以上と設定

③ 健康の保持・増進

- 健康診断と適切な保健指導の確実な実施
- 二次検診の受診勧奨と結果の把握
- 日常生活における運動の促進

取り組み例

- 健康リスク保持者への参加の働きかけ

健康づくりウォーキング  
参加率 日油

2022年度 (実績)	2023年度 (目標)	2023年度 (実績)
50.1%	50%以上	51.0%

2024年度(目標) **50%以上**

概ね半数が参加することを目標に50%以上と設定

## 健康経営宣言

日油は、「従業員の安全と健康の確保、快適な職場環境づくりが企業の持続的な成長の基盤である」との考えのもと、従業員がこころ豊かな生活を実現するため、安全かつ快適な職場環境の整備を進め、いきいきと働くことができる職場を目指して、従業員の健康保持・増進に向けた取組みを推進してまいります。

2023年10月1日 代表取締役社長 沢村 孝司



# 労働安全衛生 | 健康増進

GRI 403-1,3,4,5,6

## 重点項目① 快適な職場環境づくり

### 禁煙プログラム

日油は喫煙習慣のある方ご本人の健康増進や非喫煙者の方の受動喫煙の防止を図ることを目的に、オンライン禁煙外来プログラムの参加者を募集し、喫煙習慣のある方の禁煙をサポートしています。

禁煙プログラム参加者

日油

2021年度 参加者**31**名 達成者数**26**名

2022年度 参加者**11**名 達成者数**9**名

2023年度 参加者**10**名 達成者数**4**名

※ 達成者数はプログラム終了時点の人数です。

## 重点項目② メンタルヘルスケア

### メンタルヘルス疾患の予防・軽減

日油は、メンタルヘルス疾患の予防・軽減および職場復帰支援までを含む総合的施策を推進しています。

2009年よりストレスチェックを毎年度開始し、ストレスチェックの結果を各事業所の安全衛生委員会で審議し、対策の検討・実施の取り組みを行っています。また、社外のカウンセリング窓口の設置による早期発見・適切な対処等につなげていくことや、「職場復帰支援プログラム」の下、メンタルヘルス不調に

よる長期欠勤者・休職者の円滑な職場復帰を支援することの取り組みなどを行っています。「職場復帰支援プログラム」の推進にあたっては、メンタルヘルス専門の産業医と連携し、専門的知見を参考にした取り組みを行っています。

また、2023年度は総合職主事昇格者研修で、メンタルヘルス（ラインケア）研修（31名）を実施し、職制を通じた従業員の心の健康保持、増進に向けた施策も推進しています。

日油のストレスチェック受診率は、2023年度99.0%となり、日油と国内連結5社のストレスチェック受診率は99.2%となりました。

## 重点項目③ 健康の保持・増進

### 健康づくり

日油は健康保持・増進のため、日油健康保険組合が主催する「健康づくりウォーキング」への参加の奨励に努めています。日油健康保険組合では、健康診断結果から抽出したメタボ予備軍等の健康リスク保持者に対して、ウォーキングへの参加を働きかけて運動習慣定着のきっかけにしてもらう取り組みを推進しており、日油の健康リスク保持者の参加率は

68.6%となり、日油と国内連結4社（日本工機㈱、日油技研工業㈱、昭和金属工業㈱、ニチユ物流㈱）の同参加率は、64.5%となりました。

このような取り組みを進めた結果、日油の2023年度の全体参加率は、51.0%となり、日油と国内連結4社（日本工機㈱、日油技研工業㈱、昭和金属工業㈱、ニチユ物流㈱）の同参加率は、53.0%となりました。

また、日油健康保険組合では、年4回機関紙「すこやか」を配付し、健康に関するさまざまな情報を従業員へ提供することに加え、スポーツクラブと提携し従業員へ安価に利用できる仕組みを整えています。

2024年度からは、この取り組みに加えて、日油はスポーツジムを活用した体力づくりの推奨を開始いたしました。在宅勤務による運動不足の解消や、定年延長による高齢従業員の健康づくりも、今後の課題となることを見据えて、初心者が気軽に参加できるよう支援を開始しました。



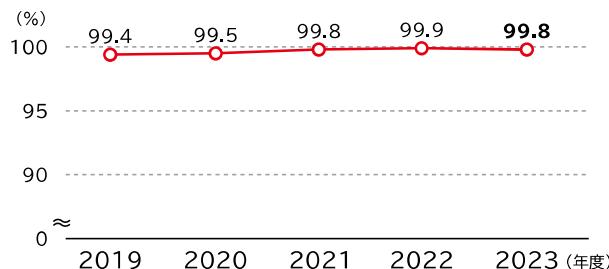


## 定期健康診断

定期健康診断は、法定の項目に加えて腫瘍マーカーなど任意のオプション検査を行っています。定期健康診断の実施後は、日油健康保険組合と協働し、効率的かつ効果的な特定健康診査および特定保健指導の実施に取り組んでいます。

日油の定期健康診断受診率は、2023年度99.8%となり、日油と国内連結5社の定期健康診断受診率も99.8%となりました。

定期健康診断受診率 [日油]



※ 休業中により定期健康診断を受診できないケースを含む。

## 健康測定会

日油は健康保持・増進は、従業員それぞれの気づきと意思が何より重要であることから、簡便な健康測定会を開催しています。血管年齢や食事状況を簡単に測定し、健康づくりへの取り組みのきっかけになるよう血管年齢や野菜の摂取過不足を数値化した情報をお伝えしています。